

令和7年度 学校評価（自己評価） 結果

1 学校の教育目標

～ 技を競って 心を磨く ～

- 理容・美容の知識・技術の基礎的・基本的事項を身に付け、職業実践的な技術を磨くとともに心を磨く教育活動を創造する。
- 地域に開かれた学校づくりを推進し、豊かに人と関わり、社会に貢献できる人材を育成する。

2 自己評価の項目

	大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価 ◎ ○ △
1	教育理念・目的・目標	①教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、理容美容専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか。	○
2	教育課程、教育の実施、学修成果	②教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。	◎
		③教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いて成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	○
		④単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針を、学科・コースごとに定め、卒業の認定をしているか。	○
		⑤学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得についての目標を定め、その目標が達成できているか。	○

2	教育課程、教育の実施、学修成果	⑤学修成果目標の達成状況	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	△
3	学生の受入れ学生支援	⑥学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか。	◎
			学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。	◎
		⑦学生生活に関する支援	校内に相談員、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。	○
			留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。	◎
			学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。	○
			学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	○
4	教育実施組織・教員	⑧教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用しているか。	○
		⑨教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか。	○
			教員間で連携、協力体制を構築しているか。	○

4	教育実施組織・教員	⑩教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。	○
	教育環境	⑪教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか。	○
		⑫安全対策・防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか。	△
5	教育活動の基盤と改善・向上の取組	⑬中期事業計画と財務基盤	当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	△
		⑭学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか。	◎
		⑮学校評価の実施と改善活動	学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか。	◎
			学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか。	◎
⑯社会からの理解と情報の公開	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか。	○		

3 まとめ（成果や改善点など）

【1 教育理念・目的・目標】について

- パンフレットや学校のホームページ等で、目指すべき人間像「技を競って 心を磨く」（校訓）や学校の基本方針等を示し、理容師美容師養成施設として育成する人材像を明確にして学校運営に取り組んだ。今後も本校の教育理念に基づいて継続的に取り組んでいきたい。（1-①関係）

【2 教育課程、教育の実施、学修成果】について

- 卒業までに全員の学生が「ABEアイラッシュ エクステンション アシスタントディレクター」「認証福祉理美容師養成講座（プロ級）」「OPIベーシックネイルカラー課程修了証」「日本ネイリスト検定3級（希望対象者）」の資格を取得できるよう、2年間を見通した教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した講義や実習の授業の実現に努めた。また、学生の資質・能力の向上を図るために専門家によるネイリングやカーリング、メイクアップの授業を教育課程に組み込み、より実践的な能力と資質の向上を図った。（2-②⑤関係）
- 職業教育の視点に立ち、愛媛県労働者福祉協議会や愛媛県男女共同参画センターと連携して、消費者セミナー、労働者セミナー、DV防止啓発講座などを開催し、社会的に必要な知識・理解の啓発に努めた。（2-②関係）
- 本校の定めるディプロマポリシーに基づき卒業の認定に向けて、理容師美容師国家試験の合格（筆記・実技）基準を学生が満たすことができるよう段階的に指導し、講義・実習の成績を絶対評価で判定するなど成績評価を行った。特に、実技試験に向けての模擬試験では、指導項目や重点事項を、項目ごとにチェックし、少人数指導の特性を生かして丁寧に説明、指導を行った。（2-③④関係）
- ▲理容師美容師養成施設として、理容師美容師国家試験の合格を第一の目標に掲げて取り組んでいるが、出席率70%に満たない学生に対して、家庭との連携を図ったり、個々に学生への指導を重ねたりしたにも関わらず、国家試験合格（筆記試験）に到達できなかった学生もいた。今後も出席率が80%に満たない学生に対しては、より一層個別に指導を積み重ねていくことが重要である。（2-⑤関係）

【3 学生の受入れ 学生支援】について

- 入学者の受入れは、入学選考基準・方法を定めて入学希望者にホームページや募集要項等で明示している。また、今治市、四国中央市、西条市、新居浜市の各高等学校を回って、本校の教育活動の取組を紹介したり、要望があった高等学校への進学ガイダンスにも積極的に参加したりした。学校見学も随時、きめ細やかに実施し、一人一人にじっくりと時間をかけて学校の様子を説明した。（3-⑥関係）
- 問題を抱えて登校しづらい状況がある学生に対しては、学生と個別に面談し、悩みを聴ける相談体制を整備している。学生からの個別の悩み相談に関して、その都度、学級担任や校長、教職員の誰でもが関わりながら気軽に相談しやすい雰囲気づくりに努め、学生の気持ちに寄り添いながら適切に対応した。（3-⑦関係）

- 実務実習店と連携して実習の成績評価や状況を適切に把握し、就職活動への意欲付けを行ったり、就職先が決定するまで個別に相談に応じるなど一人一人へのサポートに努めた。市内や市外、県外の理美容関連の企業を招いて就職ガイダンスを行うなど、学生の就職支援に対する体制づくりに努めた。（3-⑦関係）

【4 教育実施組織・教員】について

- 教職員研修として、四国地区理容師美容師養成施設教職員研修会や、即戦力養成講習会などに積極的に教員が参加し、学生を即戦力として育成するための教員自身の実践的な技術指導を高めたり、理美容に関する動向や最新事情を学んだり、教育課程を適切に実施するにふさわしい教員の資質向上に努めた。（4-⑧⑩関係）
- 学校の校務分掌に基づく業務の責任を明確化し、教員間での連携や協力体制づくりに努めた。（4-⑨関係）
- 学校保健安全法に基づき学生の心身の健康づくりに努め、防災面では、「シェイクアウト愛媛」やJアラートを活用し避難訓練の実施や、教室にヘルメットや非常持ち出し品を整備するなど、学校における安全対策に努めた。
(4-⑫関係)
- 講堂のひさしや壁の塗装、水道設備の設置、新校舎の教室内の床や壁の補修や新しいシャンプー台、手洗い場の設置、旧校舎から新校舎への教室の配置換えによる安全対策、旧校舎のエアコン取り換え、旧校舎屋上の防水塗装、新校舎へのWifiの設置やブレーカーの取替、旧校舎の耐震診断など、教育環境の充実と整備に努めた。（4-⑪関係）

- ▲旧校舎の耐震診断結果に基づき、今後より安全な教育環境の整備に向けて、計画的に予算を執行し、施設の安全な環境整備に努めていきたい。（4-⑫関係）

【5 教育活動の基盤と改善・向上の取組】について

- ▲予算・収支計画については、税理士や社会労務士などの専門家にも意見を求めたり、前年度の財務状況を勘案したりして、適切な予算・収支計画を立案している。今年度は、施設の修繕や整備の必要な箇所に予算を集中して投入し、教育環境の整備に尽力し黒字決算とはいかなかった。中長期的な財政基盤を堅固にするには、学生数の確保が何より重要であるが、年度ごとに、数年先までの学生の入学者数の予想がつかないため、中長期的に財政基盤を安定していくという面では難しいものがある。毎年、財務状況は学生数に大きく影響されるが、今後も継続して学生を確保できるように努め、中長期的な視野で財政基盤の安定を図っていきたい。（5-⑬関係）

●学校評価に関しては、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施しており、学校関係者評価を確実に実施して、外部人材の意見も参考に、より望ましい適切な学校運営に努めた。自己評価結果及び学校関係者評価結果については、ホームページ上に公開するなど、情報公開や法令等の順守に努めた。今後も学校評価を確実に実施することを通して、より一層の学校運営の改善を図っていきたい。（5 - ⑭⑮⑯関係）